



圓岡 伸夫 議員

破損した看板の更新は？

町長

観光協会で修繕

【圓岡】 大山寺周辺は、かつて整備されていた案内看板も、現在は観光客のために十分に整備されていない。朽ちた看板を見れば、まるで「兵どもが夢の跡」のようだ。

この秋のエコツーリズム国際大会に向けて、老朽化した説明看板や標識を新しくし、英語表記をあわせて設置すべきではないか。

【町長】 破損したときの修繕は、設置者の責任とするもの。設置者がなくなつた場合は、観光協会の各支部の事業として修繕しているが、できないものは町でも対応している。

国際大会を行うからということではなく、新設・改修の際には少しずつローマ字表記の対応をする。

たたくみ 太空海号の撤去費は？

町長

積み立て金で可能



環境にやさしい町のシンボル(太空海号)

【圓岡】 県が平成13年に発行した冊子に、風力発電の撤去工事には建設費の3分の1程度がかかる。とある。

太空海号も建設されて10年を迎えるが、今後は解体・撤去も視野に入れた予算編成をすべきではないか。

【町長】 今年度は建

設費を償還しながら、600万円を撤去費用のために積み立てることができると試算している。

平成34年には、積み立て額の累計が約1億1600万円に達し、解体・撤去に必要な金額を上回る予定である。

町の管理能力は？

町長

設計事務所へ委託



工事中の中山みどりの森保育園(当時)

【圓岡】 行政は、発注者として監理をする能力が十分あるとは思えない。5億円を超えるお金を使うのだから、工事の期間中だけでも資格や能力のある人を配置することはできないか。

【町長】 名和拠点保育所のような規模の工事を監理するには、1級建築士の資格が必要だが、本町にはその資格を持つ職員はいない。

資格を持つ設計事務所に工事監理業務を委託し、適切な工事が行われるよう、万全を尽くす。